

















市民参加条例制定後の 市民参加の変化・向上



- (1)無作為抽出で市民を選出する方法の導入 ※アンケート以外 (平成23年度から)
 - 例1) 市民参加パートナーバンクへの登録者募集 3,000人に郵送 → 119人(4%) 申込
 - 例2) 第9次安城市総合計画策定のための 市民未来会議への参加者募集 3.000人に郵送 → 25人(0.8%) 申込

市民参加条例で定められていることは?

~市民参加評価会議~

市民参加推進評価会議

審議事項

市民参加条例の 運用状況に関すること

市民参加条例の 見直しに関すること

市民参加の実施状況の 評価に関すること

その他市民参加の 推進評価に関すること

10人 公募市民、学識経験者等で構成

市民参加条例制定後の 市民参加の変化・向上



(2) 市長との茶話会 (平成23年度から)

お茶を飲みながら、和やかな雰囲気で市長と語り合 う会

23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 団体数 6 6 8 7 7 7 6 7 7 4 5 4 6 5

(3) e モニター制度 (平成24年度から)

インターネットと電子メールを利用した登録制のア ンケート調査 (年間+数回アンケートを実施)

登録人数: 1,031人 (R7年度)







